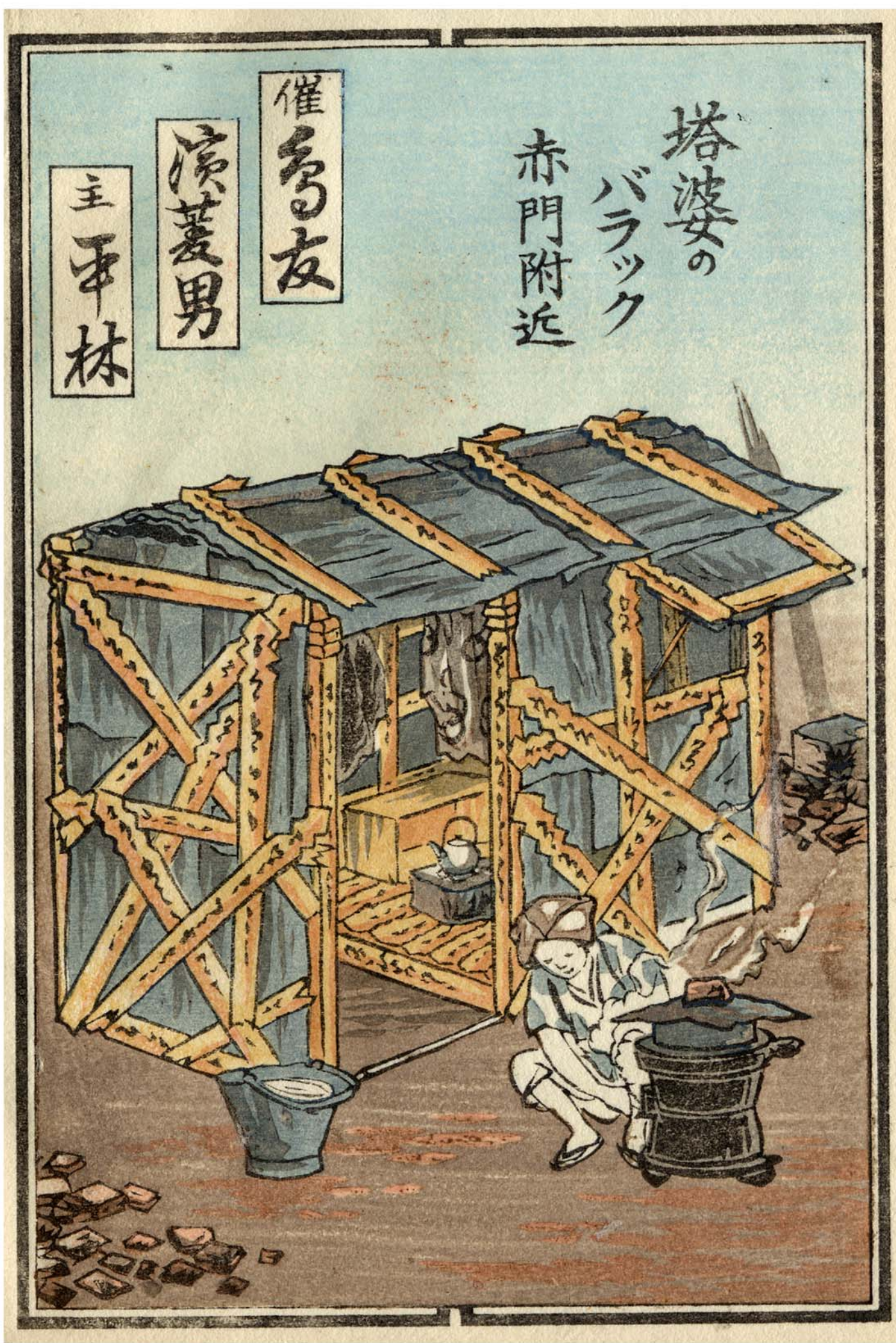


●住む。

仮小屋に住む娘を訪（ひ）ぬ
 板ばりのすきまをもるる風にさへ
 秋の深きを覚えけるかも

竹尾忠吉

アララギ発行所・編『灰燼集 大正十二年震災歌集』
 古今書院、大正一三年五月二三日



催ふる友

演菱男

主平林

塔婆の

バラック

赤門附近

各方面の同情にかゝる
 バラックの建築進む

府縣及び團體個人よりの寄贈にかゝるバラックは目下市内各所に建築中なるが寄贈及建築場所收容人員等左の如し

●兵庫縣並神戸市寄贈

英町一丁目、若葉町二丁目、霞町一丁目、野毛町二丁目、吉田町一、淺間町大新田社宮司、平沼町、羽衣町一、蒔田町字町田、羽衣町、雲井町一、南吉田日本橋、南

町二棟、真金町二棟、山手町四棟、翁町二棟、元町二棟、淺間町二棟、長者町四棟、扇町二棟、足曳町二棟、長者町二棟、おほ岡宮の前四棟、三春町黄金町二棟、真砂町二棟、神奈がは町字西二棟、梅ヶ枝町本願寺別院托兒所一棟、野毛町一棟計五十棟

太田東耕地、真金町一二、戸部町五、同六、元町一、長者町七八計二十棟

右一棟六十坪一棟百二十人を收容し得る見込みであるから全都で二千四百人を收容する事が出来る

●關西府縣聯合寄送

英町霞町二棟、若葉町二棟、吉岡町南吉田町二棟、羽衣

三井家の寄そうにかゝるものは凡そ千七百坪内外で集團的收容バラック建築の見込みである

●三井家の寄そう

右一棟六十坪一棟百二十人を收容し得る見込みであるから全都で二千四百人を收容する事が出来る

「塔婆のバラック 赤門付近」(『横浜納札浜菱連追善大会』所収)